

# 2020年度 悠久山栄養調理専門学校 事業計画と評価

2020.3 計画 2021.3 評価

## 1 取組の重点

- (1) **学生確保 充足率の向上**
  - コスバを考慮した広報活動  
早め早め、先手先手の取組 SNSのこまめな更新 生身の広報体(口コミ、学生自身)活用
  - オープンキャンパス 来校者へのサービスの質向上
  - 中長期的な宣伝活動の展開 あらゆる場面で広報を ひとひねりした広報を  
小学生 中学生 その保護者も視野に すべての取組を宣伝活動に
  - 教育相談や就職指導 HRやスキルアップ等を活用し学生一人一人のみとりを継続する
  - 高等教育修学支援制度等の活用
- (2) **適切な教育課程の編成と実施および検証** それに基づく中期計画策定
  - 魅力ある教育課程の編成と実施  
調理師科、栄養士科 科内会議での各科運営計画策定と展開
  - 常勤教員について  
ワークキャリア発達の観点を生かした授業力の向上  
自分のプロパー分野の確立 OJT 出張等による現場研修
  - 非常勤講師について  
どの科目をどの講師に依頼するか、常勤のOJTとの兼ね合いで熟慮する
  - 運営委員会 職員会議 年間を見通した運営  
議題一覧 早めの起案と検討
- (3) **信頼される学校づくり**
  - 地域社会からみてわかる教育活動サービス展開  
食育教室 悠和祭 親子料理教室 各種ボランティア(特に食関係)  
地域の祭りボランティア うまい米 音むす など
  - 取組がわかる情報発信  
ブログ等 画像や動画 など
  - 職員の資質向上を目指す研修  
出張による希望研修 技術を磨く研修
  - 学校関係者委員会の開催、示唆を学校運営に反映  
○各教員の教育力の向上 組織としての教育力の向上

## 2 自己点検自己評価項目と評価基準

1の(1)～(3)の3項目ごとに3つの目標を定め、数値目標を設定する。  
中間評価は、文章で実施 期末評価は文章にA～Dで評価をする。

学校関係者評価委員会において外部評価をいただき、学校運営に生かす

学校関係者評価委員会 委員 松田さん 佐藤さん 野元さん 小村さん  
学校側同席者 校長 武田 加藤 川上 事務担当者

## 2020年度 悠久山栄養調理専門学校 事業計画の評価

|                 | 評価項目                                 | 評価基準  | 状況                                 | 期末評価 |
|-----------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|------|
| (1)             | 学生確保 充足率の向上                          |   |                                    |      |
|                 | ①2021年度新入生数の増加                       | 80人以上A 60人以上B<br>40人以上C 39人未満D                | 新入学生<br>65名                        | B    |
|                 | ②OC参加数の増加<br>実数125人が目標               | 125人以上A 110人B<br>100人C 未満D                    | 参加者数のべ<br>161<br>うち入学可能<br>者の実数107 | C    |
| ③退学者数の減少        | 2人までA 4人までB 6人<br>までC それ以上D          | 3名退学<br>1名除籍                                  | B                                  |      |
| (2)             | 適切な教育課程の編成と実施                        |   |                                    |      |
|                 | ①年間予定議題に基づいた職員会議の実施                  | 100%実施かつ運営委員会と<br>連動A 100%実施 B 80%<br>実施C 未満D | 実施はできたが、中身<br>は要改善<br>B            |      |
|                 | ②①のための運営委員会の毎月の定例化                   | 100%実施かつ職員会議と連<br>動A 100%実施 B 80%実<br>施C 未満D  | すべて実施できたが、<br>さらなる改善が必要<br>B       |      |
| ③教員研修の機会の確保     | 全員が1回以上A 8割が1<br>回以上B 6割が1回以上<br>未満D | 半年間の校外研修<br>1名実施<br>全体研修1回 B                  |                                    |      |
| (3)             | 信頼される学校づくり                           |   |                                    |      |
|                 | ①食育教室の効果的な実施                         | 参加者32名以上A 28名<br>以上B<br>24名以上C 未満D            | コロナのため実施でき<br>ず 評価不能               |      |
|                 | ②教職員ワークキャリア面談の実施                     | 年間3回以上実施A 2回B<br>1回D                          | 3回実施                               | A    |
| ③学校関係者委員会の確実な実施 | 年間2回以上A 1回B 0<br>回D                  | 2回実施  | A                                  |      |